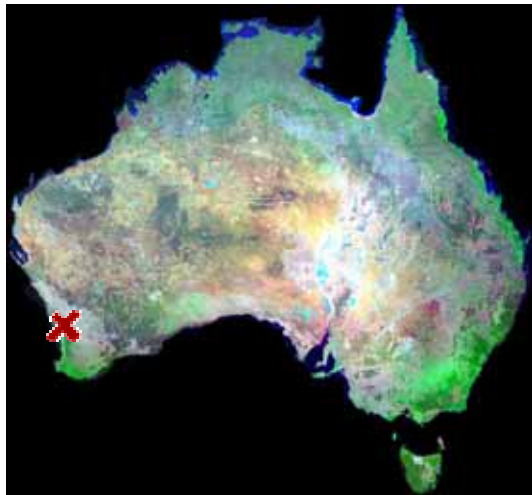


## 4. まちづくりの将来ビジョンの作り方の例

- 西オーストラリア州パース都市圏におけるフォーラム「都市との対話」の取り組み
  - 2003年秋 “Dialogue with the City”
  - 1,000人を超える市民が参加し、パース都市圏(州都, 150万人)の将来ビジョンを決定する



# 大規模な市民参加型ワークショップ



- 50人以下の小さい会合
  - コミュニティの多様性を把握するには小さすぎ、人々の代表とは言えなかった
- 100人以上の大きい会合
  - 大人数での共同作業を管理することが難しく、参加者を十分に引き込むことができない傾向があった

大人数の共同作業を可能にする！



10人×130テーブル  
(市民8+ファリシテータ1+書記1)<sub>5</sub>

# アウトプットの例



Dialogue with the city

守るべき	変えるべき
<p><b>環境</b> (緑、きれいな環境、皆がアクセスできるオープンスペース、河川、森林、砂浜) 32.3%</p> <p><b>統合的な交通計画</b> (移動のしやすさとライフスタイルの選択機会) 14.9%</p> <p><b>近隣センター</b> (混合用途、活気のある、サービスに近い) 12.9%</p>	<p><b>交通</b> (車の代替手段、信頼性、高頻度、旅客と貨物の分離) 26.2%</p> <p><b>資源</b> (より良い水の利用、より良いエネルギー効率、より多くの代替エネルギー) 17.1%</p> <p><b>環境</b> (よりきれいな、天然資源保護、より多くの緑地) 13.2%</p> <p><b>スプロール制御</b> (成長限界線の導入、入手可能な空間のより良い利用) 13.0%</p>




# 計画ゲーム

# ゲームのコマ

- 9種類
- 計95個(一例)

**Town Centre**



**2**

**Actual Size**

Examples:

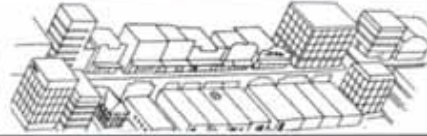
- Subiaco
- Midland
- Joondalup City
- Mt. Lawley

←→

**1 Km square**

<i>No. of Dwellings</i>	=	<b>1,000</b>
<i>No. of Jobs</i>	=	<b>3,000</b>
<i>No. of Hectares</i>	=	<b>100</b>
<i>Approx. No. of People</i>	=	<b>2,200</b>

**3**



**High Activity Corridor**

←→

**5 Km long x 1 Km wide**

**Actual Size**

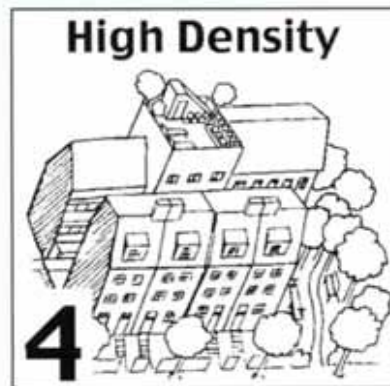
**High Activity Corridor**

Closest Examples:

- Canning Hwy, Frem to Perth
- Albany Hwy, Victor Park
- Oxford St, Leederv

<i>No. of Dwellings</i>	=	<b>9,000</b>
<i>No. of Jobs</i>	=	<b>6,000</b>
<i>No. of Hectares</i>	=	<b>500</b>
<i>Approx. No. of People</i>	=	<b>18,900</b>

# ゲームのコマ



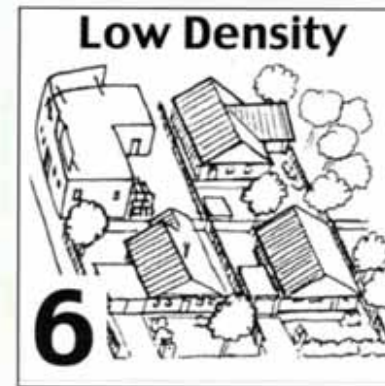
1 Km square

*No. of Dwellings* = 4,000  
*No. of Jobs* = 1,500  
*No. of Hectares* = 100  
*Approx. No. of People* = 6,000  
*Approx. No. of Dwellings/ha* = 40



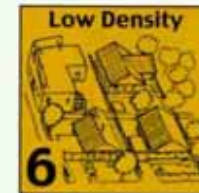
Actual Size

- Examples:
- Subi Centro, Subia
  - Esplanade, South F
  - Grand Blvd, Joond: North



2 Km square

*No. of Dwellings* = 4,000  
*No. of Jobs* = 1,500  
*No. of Hectares* = 400  
*Approx. No. of People* = 9,200  
*Approx. No. of Dwellings/ha* = 10



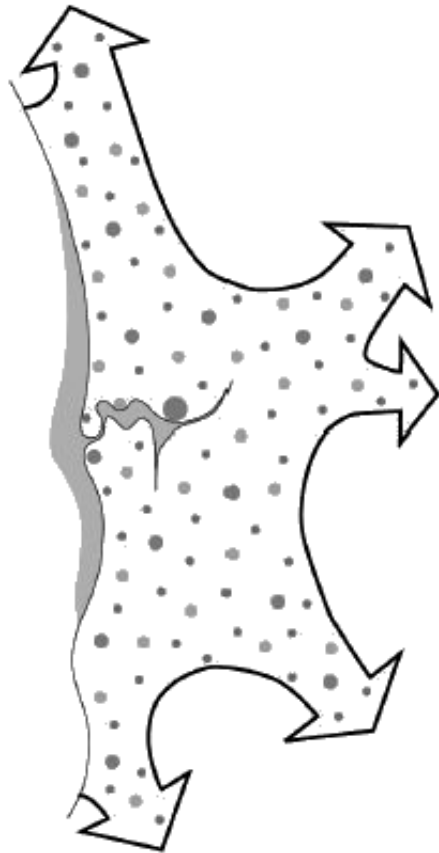
Actual Size

- Examples:
- Nedlands
  - Mindarie
  - Safety Bay
  - Heathridge

# 4つのシナリオ

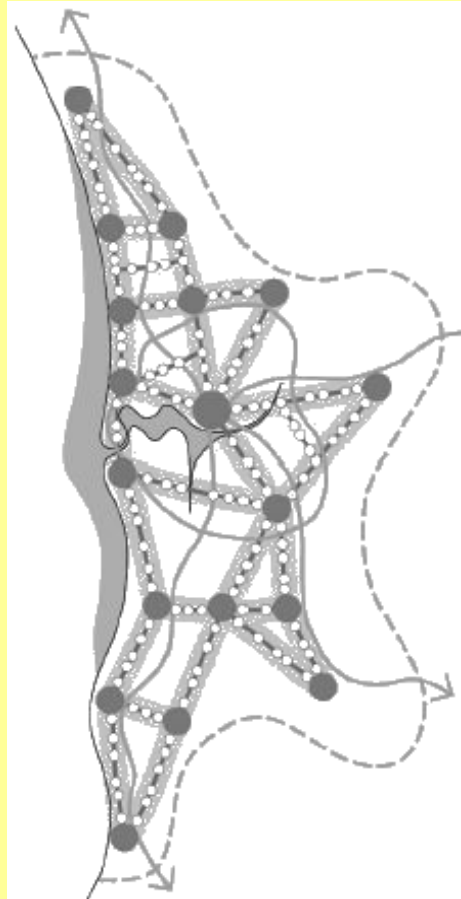
Dispersed City

53,800 開発面積(ha)  
自動車 主要交通手段



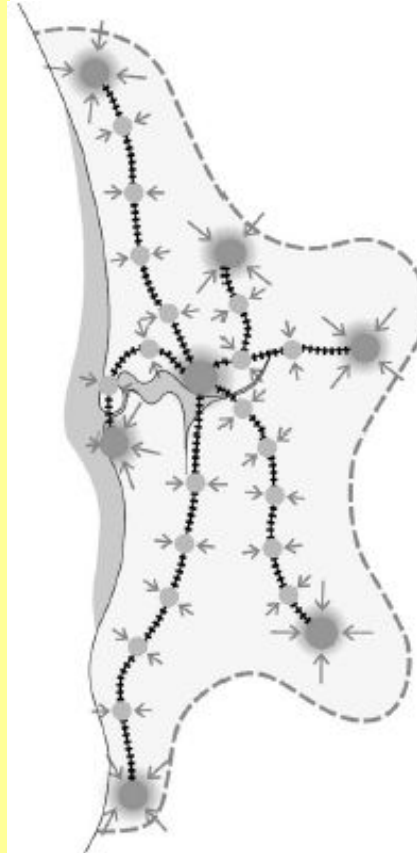
Connected Network

33,800 開発面積(ha)  
バス・自転車・徒歩 主要交通手段



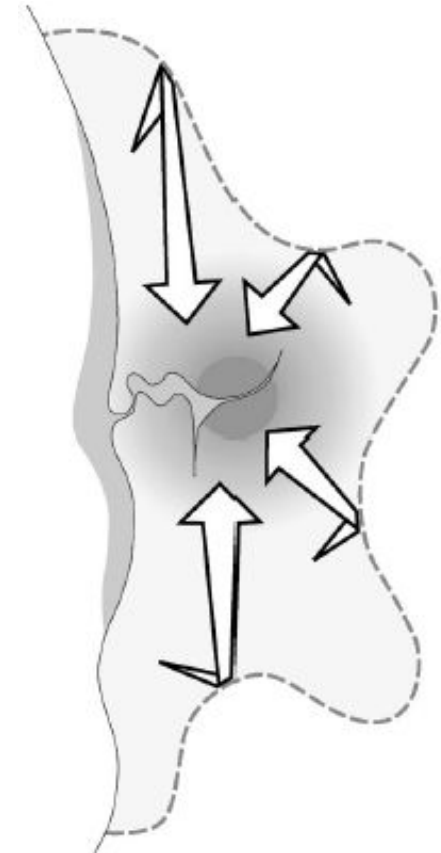
Multi Centred City

45,600 開発面積(ha)  
鉄道, バス・自動車 主要交通手段



Compact City

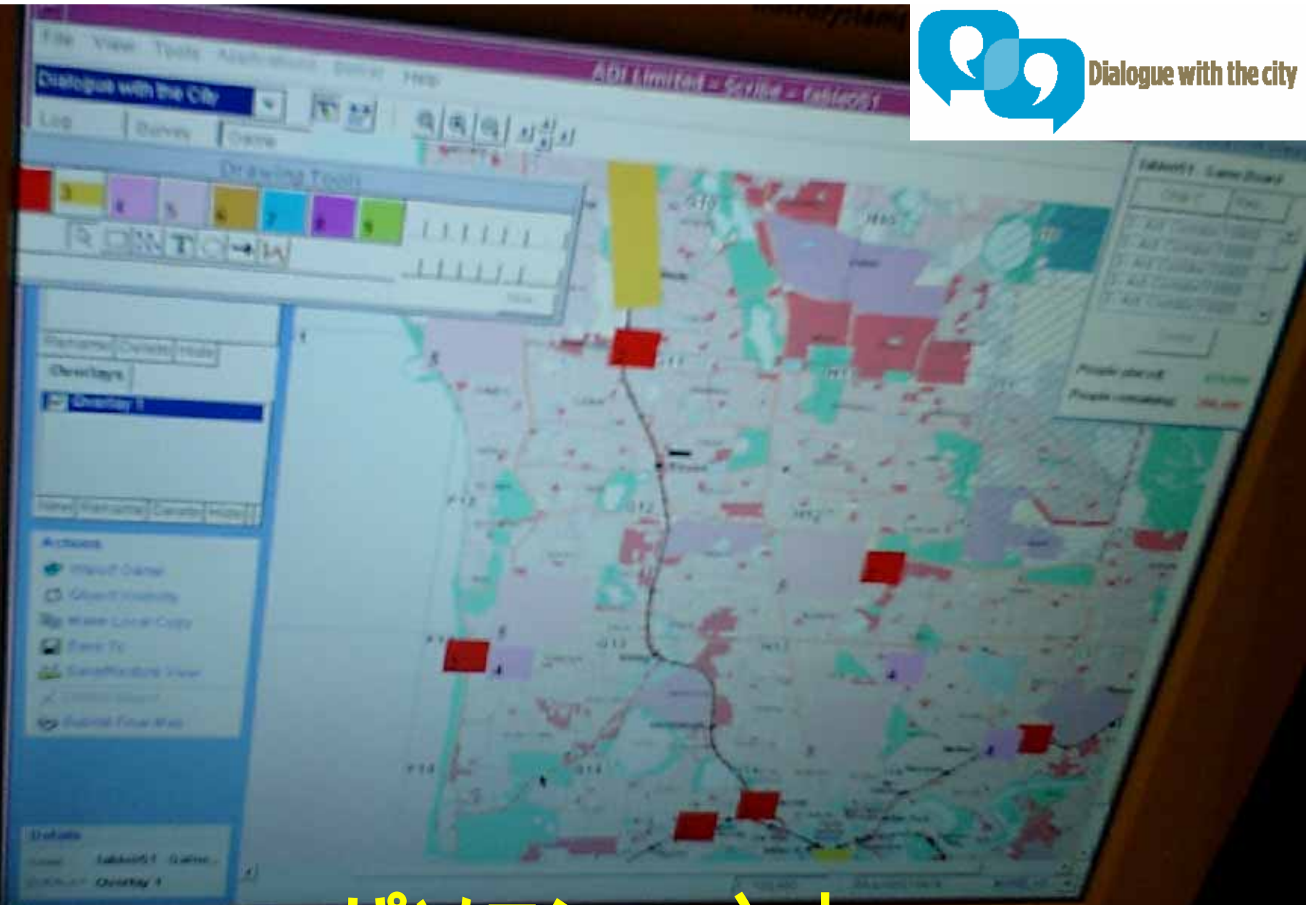
25,300 開発面積(ha)  
バス, 自転車・徒歩 主要交通手段



# コマの配置、交通幹線、 成長限界線の書き込み







パソコンへ入力

# 小まとめ

- 1,000人を超える市民が参加して、パース都市圏の守るべき点と変えるべき点を明らかにし、発展の方向性を示す地図を作成した
  - 国土交通省が主催し、マスタープラン作成の基礎資料と位置づけた
- 多くの意見を反映させ、参加意欲をさらに高める
  - 新聞社、テレビ局の支援
- 政府、企業、市民が民主主義の重要性を認識し、実績を重ねてきている
  - まちの将来像は、(地主でなく)市民が決めると認識しており、コミュニティ新聞等での議論が普段から活発
  - 100人を超えるファシリテータをボランティアで集めた

# まとめ

1. 大都市圏で交通CO<sub>2</sub>が小さい
2. 地方都市で軌道系を活用できると良い
3. 市民が決めたまちの将来像があると良い

# 関連文献

- 松橋啓介,工藤祐揮,上岡直見,森口祐一「市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究」環境システム研究論文集,32,235-242 (2004)
- 松橋啓介「大規模市民参加型まちづくりワークショップの事例報告 - 西オーストラリア州パース都市圏におけるフォーラム『都市との対話』の取り組み -」都市計画論文集,39(3),331-336 (2004)
- 松橋啓介,森口祐一「交通からの環境負荷の少ない都市のあり方」都市計画,244,41-44(2003)
- 松橋啓介「公共交通機関の停留所の立地が徒歩アクセスと潜在的利用人口に与える影響」都市計画論文集,37 157-162 (2002)
- 松橋啓介「京阪神大都市圏における小地域別トリップ・エネルギーと土地利用特性」『長期的な戦略による効率的な道路交通システムの実現施策』日本交通政策研究会,1-16,日交研シリーズA 397 (2005)
- 松橋啓介,工藤祐揮,上岡直見「日本の交通CO2削減における地方都市の交通CO2削減の位置づけ」第1回人と環境にやさしい交通をめざす全国大会in宇都宮(宇都宮2005.6.25)同論文集 61-62
- 松橋啓介「環境共生都市の都市空間形態に関する研究」(東京大学学位論文)2001.2.8
- 地球環境研究総合推進費「脱温暖化2050研究プロジェクト」<http://2050.nies.go.jp>